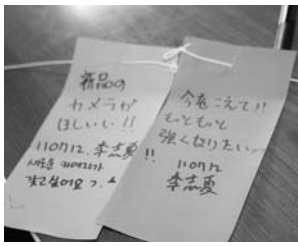


▶短冊に願い  
を込めて



▼加茂川遊覧を  
楽しみました



草の根交流の継続を目指す  
国際交流協会の塚田会長(東上)は  
「これまで16年間培ってきた小さな  
草の根交流を今後も継続し、日韓両国  
の絆と町民の国際理解をさらに充実  
したものにしたい。」と話します。ホ  
ームステイ事業を通じて、さらに南  
部町の国際理解が進んでいきます。

ホストファミリーとの絆  
これまで南部町を訪れた多くの学  
生が社会人として活躍しており、な  
かには韓国の国際交流員として鳥取  
県を希望し赴任している人、日本企  
業に就職し活躍している人もいます。  
また、韓国に帰った後もホストファ  
ミリーのみなさんを「おとうさん、  
おかあさん」と親しく呼び、日本、  
韓国を互に行き来しながら交流を  
続けている例もたくさんあります。

### 日本の家族が出来ました



イ・ジハさん (3年)

初めての海外でしたが、食べ物も  
おいしく勉強不足で不安だった言  
葉も理解してもらい、楽しく過ご  
せました。1番印象的なのは街が  
きれいだったこと。浜本さんとは  
今後も手紙、メールでやり取りを  
したいと思います。また必ず日本  
に来ます。

ホームステイを受けるのは7回目  
です。今回はホストファミリーの  
日が最初にあったのが良かったで  
すね。孫もたくさん遊んでもら  
いました。ジハは家族全員の食事を  
とても喜んでくれました。私たち  
家族も楽しい思いをさせてもら  
い、充実した毎日でした。



浜本和子さん

これからも交流を続けます

### みんな親切でうれしかった



シン・コウンさん (3年)

「ホストファミリー」の日に豆腐  
工場へ行き豆腐作りを初体験。持  
ち帰った豆腐で豆腐チゲを作り遠  
藤さんに食べてもらいました。ホ  
ストファミリーの日が多かった  
ことで幸せな思い出を持ち帰るこ  
が出来ました。

有意義な10日間でした。食事も  
家族と同じものを食べ、全く気  
を使うこともなく過ごしました。作  
った竹とんぼ、竹花瓶、箸などを  
お土産に持ち帰ってもらいました  
ので、大学で使ってもらえると  
うれしいですね。



遠藤忠明さん

手作りの竹細工をお土産に

▶西伯小学校6年生と  
交流



◀自慢のカメラであち  
こちをパチリ。砂丘  
の美しさに感動!



▶いきいきサロン  
(北方)でちまき  
作りに挑戦

### 冬にまた来ます



キム・ミンジさん (1年)

茶道教室で礼儀作法を学び、陶芸  
教室で茶碗を作ったりと、日本の  
伝統文化を体験できました。来る  
前はとても不安でしたが、皆さん  
に親切にもらったので楽しく  
過ごせました。今度は母親と一緒  
に来たいです。

あっという間の10日間でした。  
日本語も上手ですし、食事も何  
でも食べてくれて毎日楽しく過ご  
せました。野菜の収穫なども体験  
してもらいました。履物を揃える、  
食べたものは片づけるなどとも  
真面目な学生さんでした。



雑賀雅江さん

自然の美しさでおもてなし

